

平成17年度 和歌山県文化奨励賞

くまの だいがく 熊野大学

創 立：昭和62年 8 月15日

理 事 長：松本 巖

所 在 地：和歌山県新宮市

◎業績及び経歴

新宮出身の作家、故中上健次氏が、「校舎も試験もないが、誰にでも開かれている学びの場」として創立した「熊野大学」は、昭和62年 8 月発足の「隈ノ會」に始まる。

平成元年 1 月の熊野大学準備講座、同年 8 月の「ばちきったろかぁー胎動する熊野」、平成 2 年 6 月、西村伊作記念館に於いて熊野大学開講式、平成 3 年 8 月には、歌手都はるみの復活となった「都はるみ LIVE IN 熊野神社」等の催し、並行して開催される毎月の講座等の実施の中で、既存の文化団体とは異なった独自の活動をしている。

平成 4 年 2 月には、主宰者中上健次氏の念願であった日本や世界の文化状況を踏まえた国際会議を熊野で開くための準備段階として、熊野大学冬期セミナーを開催、全国から論文公募した受講生 35 名が、梅原猛氏、李禹煥氏らと討論、交流した。

熊野大学の中心であり、精神でもあった中上氏没後も、現在まで絶えることなく、例会の講座をはじめ、毎年、中上氏の亡くなった 8 月に、夏期特別合宿セミナーが開催され、国内外の著名な学者・芸術家らを講師に全国から熱心な参加者が集い、熱い討議が展開されている。

熊野大学は、今後も、現在における「熊野」の意味やその文化について考え、多くの人々とともに行動していくことを目指している。